

子どもを育てるって？

中学校
3 学年
学級活動

1 ねらい

- (1) 実際に経験したことのない親についてのロールプレイを通して、親としての立場の理解を深め、同時に子どもの気持ちも理解させる。
- (2) 乳幼児期の親の養育態度が子どもの人格形成に大きく影響を与えていることに気付かせ、どのように関わればよいのかを考えさせる。

2 題材について

本題材では、ロールプレイを通して、様々な人の立場や意見、考えを理解し、自分とは違った視点から考えるようにさせたい。

また、親としてのあり方を自分なりに考え、将来自分がどんな親になりたいか考えさせていきたい。その際、親として自分の子どもに愛情をもち、自分の子どもの健全な成長を願い、優しいだけが親のあり方ではないことや、絶対に虐待のような行為があってはならないことを理解させたい。

3 児童虐待防止指導上のねらい（身に付けさせたい資質・能力①ーウ、③ーイ）

- (1) 家族・友だちや身の周りの人を大切にできるようにする。
- (2) 話したいことを正しく、わかりやすく伝えることができるようにする。

4 展 開

☆児童虐待防止指導上の配慮

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援
導 入	1 親とのかかわりで、「うれしい時」「ほっとする時」「悲しい時」はどんな時か、アンケートの結果を見て、感想を発表する。 ＜生徒からのアンケートの答え＞ 例「うれしい時」 ・頑張ったことをほめてくれた時 例「ほっとする時」 ・みんなで和やかに食事をする時 例「悲しい時」 ・無視されたり、話を聞いてくれな	・事前に親とのかかわりで「うれしい時」「ほっとする時」「悲しい時」はどんな時かに関するアンケートをとり、まとめておく。 ・様々な家庭の事情があるため、家庭の内情がわかってしまう内容は、アンケート結果に載せないよう配慮する。 ・学習の展開につなげられるような事柄については、事前に本人及び家庭の承諾を得た上で、紹介する。

	<p>かったりする時 ・頭ごなしに怒られる時</p> <p>2 本時の学習を確認する</p>	<p>・将来の自分のあり方を考えるための学習であり、他人事にならないよう、学習への意欲を促す。</p>
展 開	<p>3 「親のあり方を考えよう」のロールプレイをする。(ワーク1を使用)</p> <p>①「服従的」「支配的」「拒否的」「過保護的」の親の対応の4つのタイプについての説明を聞く。</p> <p>②それぞれのタイプの親子のせりふを考える。(ワーク1に記入させる)</p> <p>4 できたせりふをロールプレイで、発表し合う。</p> <p>5 ロールプレイを見たり、行ったりして感じたことや親の気持ち・子どもの気持ちをワークシートに記入する。</p> <p>6 自分が将来、目指す理想の親としての対応とそのせりふを考える。 ワーク1の4つの場面から、自由に選んで「自分だったら」という気持ちで理想の親の対応を考える。 (ワーク2に記入させる)</p> <p>7 代表の生徒数名に発表させる。</p>	<p>・親の態度を「服従的」「支配的」「拒否的」「過保護的」の4つのタイプに分類し、説明する。生徒の様子を見ながら、わかりやすい言葉で補足する。</p> <p>・4人～6人程度でグループを作り、ペアで考えさせる。</p> <p>・自分達のせりふと比較させながら、演技者にしっかり注目させる。</p> <p>・ロールプレイの後、それぞれの立場から感想を記述する。</p> <p>・生徒のアンケートの中に出てきた「うれしい時」「ほっとする時」などの親の言動をふり返り、参考にさせる。 ☆愛情をもち、優しさと厳しさを表しながら、子どもを育てていく親の態度を考えさせる。</p> <p>・自分の考えた理想の親のあり方と比較しながら、発表を聞く。</p>
終 末	<p>8 「ある保護者から子どもへの手紙」(P32)を朗読する。</p> <p>9 活動をふり返り、感じたことをまとめる。</p>	<p>・親の子育ての苦労と子どもへの愛情が理解できるように真剣に読ませる。</p>

5 評価

- ① ロールプレイをすることにより、親としての立場への理解を深めると同時に、子どもの気持ちを考えることができたか。
- ② 将来、自分が親になったとき、子どもにどんな接し方をしたらよいか、考えることができたか。

*平成19年埼玉県教育委員会発行の「親の学習プログラム集」を参考に実践したものである。

6 児童虐待防止指導上のポイント

- (1) 児童虐待を受けたと思われる生徒がいる場合について
 - ・児童虐待を受けたと思われる生徒がいる場合は、いろいろな親子のタイプのせりふを考える展開の場面で、場面設定に十分な配慮が必要である。また、時には親が子どもに対し、厳しく接することもあるが、どの親も子どもに対して深い愛情があるということを補足し、親に対する批判にならないようにしたい。
- (2) 事前指導の留意点

事前のアンケートの実施にあたっては、親のいない子どももいるので、子どもや家庭の実態に応じ、アンケートの内容を変えたり、アンケートを実施しないなどの配慮も必要である。
- (3) 事後指導の留意点

家庭環境に配慮しながら、学級通信や保護者会などで授業内容を取り上げ、家庭への児童虐待防止教育の啓発のきっかけにする。
- (4) その他
 - ・ワーク1の場面設定においては、場面状況を同一にして、親のタイプを変えるといった工夫もできる。
 - ・道徳の「内容項目4－(6) 家族愛」を主題とする学習と関連づけながら指導していくと、より効果的である。

7 成果と課題

- (1) 成果
 - ・子どもである生徒が、親の態度を考えるとというのは、多少難しい面もあったが、ロールプレイを通して親の立場の理解が深まった。
 - ・生徒の感想でも、「子どものことをいろいろ考えてあげる親になりたい」という感想が多く、将来の自分を考えるよいきっかけになった。
- (2) 課題
 - ・自分が将来目指す理想の親としての対応とそのせりふは、よく考えることができたが、親の立場から見た子どもへの接し方や優しさと厳しさのバランスがとれた親の愛情についての理解は、なかなか難しいと思われる生徒もいた。
 - ・理想の親のあり方や親子の愛情の理解にとどまらず、それを実践していく力を育てる必要がある。今後も道徳や特別活動を中心に、いろいろな場面で、親子のあり方を考えさせたり、優しい心や命の大切さなど考えさせたりしていきたい。

(生徒の感想)

ワーク2 あなたが将来、親になった時、どのように子どもに接していったらよいか考えよう。

ワーク1で演じた親子関係を、好ましい親子関係に直してみよう。

- ①<携帯を欲しがっているA子と親>
- ②<テレビを見ていて注意されたA子と親>
- ③<進路に悩むA男と無関心な親>
- ④<友達とケンカをしたA男と親>

(選んだ番号 /)	
親(自分)	: 携帯かなせほしいの?
子	: だって、みんなもってるし、あると便利だよ。
<input type="checkbox"/> 親	: でも、お金がたくせんかかったり、勉強のじゃまになるんじゃない?
<input type="checkbox"/> 子	: そんなことはないよ、よねがいたよ。
<input type="checkbox"/> 親	: じゃあ、あなたを信じて、買ってあげるけど、後で使い方の約束を
<input type="checkbox"/>	: ちゃんとしようね。

<今日の活動を振り返って>

今日の授業で感じたことや学んだこと、自分は将来、どんな親になりたいかを書いてみよう

いろいろな親を演じるのは、おもしろかった。
理想の親のセリフを考えるのは、むずかしかったが、私が将来親になったり、子どもを信じて、応援してあげられるような親になりたい。
自分の子どもから、尊敬される親になりたいなあと思った。

8 ワークシート

親のあり方を考えよう～やがて親になるであろう自分のために～

組 番 氏名 _____

ワーク1 いろいろなタイプの親子関係のセリフを考え、演じてみよう。

服従的・・・子どもの言いなりになってしまう親

<A子（A男）は、携帯電話を欲しがっている>

A子：ねえ、携帯欲しいんだけど、買ってよ。

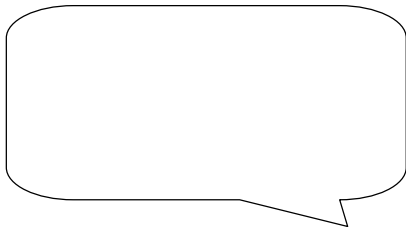
親：携帯ねえ・・・どうしようかしら。

A子：前、買ってくれるって言ったじゃない？

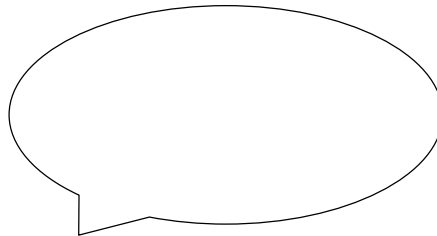
親： _____

A子： _____

親： _____



親はどんな気持ちだろう？



子どもはどんな気持ちだろう？

支配的・・・子どもを頭ごなしに言うことを聞かせようとする親

<A子（A男）は食事が終わって、テレビを見ていた>

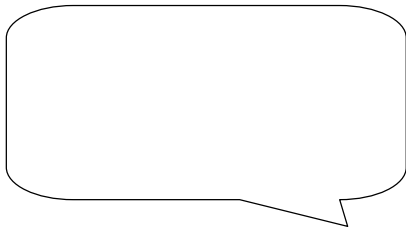
親：A子、何をやっているのよ。勉強もしないで、まだテレビを見ているの？

A子：まだ、ほんの30分ぐらいしか見ていないよ。

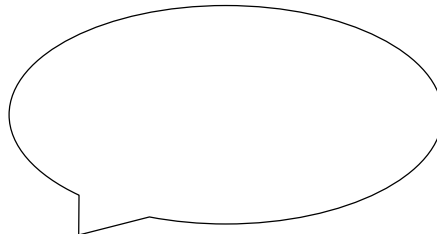
親：30分見れば十分でしょ！早く勉強しなさいよ。

A子： _____

親： _____



親はどんな気持ちだろう？



子どもはどんな気持ちだろう？

拒否的・・・子育てに関心を示さず、放任してしまう親

< A男（A子）は進路のことで悩んでいる >

A男：お母さん、行きたい高校があるんだけど、今の学力だと難しそうなんだ。悩んでるんだ。

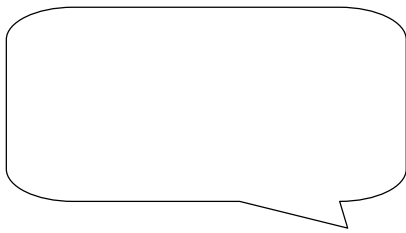
親：あ、そう。

A男：どうしようかな。違う学校の方がいいかな？

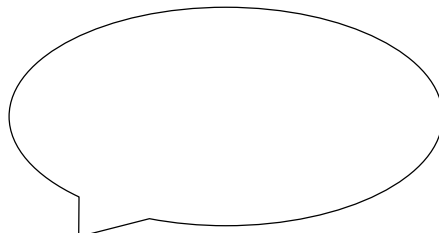
親：どうでもいいわよ。私、疲れているのよ。ああ、眠い・・・

A男：_____

親：_____



親はどんな気持ちだろう？



子どもはどんな気持ちだろう？

過保護的・・・子どもの世話をやきすぎる親

< A男は、太郎とささいなことで言い争いをし、元気がない >

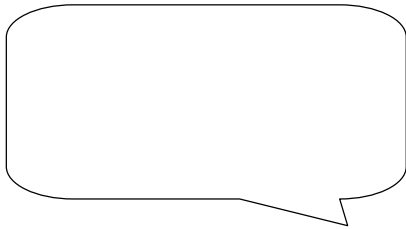
親：A男、どうしたの？元気がないじゃない。

A男：うん、今日、太郎とちょっとケンカしちゃってね。
でも、たいしたことないから。

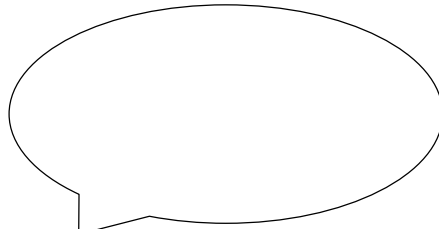
親：_____

A男：_____

親：_____



親はどんな気持ちだろう？



子どもはどんな気持ちだろう？

ワーク2 あなたが将来、親になった時、どのように子どもに接していったらよいか考えよう。

ワーク1で演じた親子関係を、好ましい親子関係に直してみよう。

- ①<携帯を欲しがっているA子と親>
- ②<テレビを見ていて注意されたA子と親>
- ③<進路に悩むA男と無関心な親>
- ④<友達とケンカをしたA男と親>

下の□の中に、「親」または「子」を入れて、好ましい親子関係のセリフを考えてみよう。

(選んだ番号)
親(自分) : _____
子 : _____
<input type="text"/> : _____
<input type="text"/> : _____
<input type="text"/> : _____
<input type="text"/> : _____

<今日の活動を振り返って>

今日の授業で感じたことや学んだこと、自分は将来、どんな親になりたいかを書いてみよう

<ある保護者から子どもへの手紙>

あなたが生まれたのは今から15年前の夏のことでした。

陣痛が来てもなかなか産まれず、30時間以上も苦しい思いをしていました。

やっと生まれたとき、ほっとすると同時に、どんなにあなたがいとおしかったことか。しかし、生まれてすぐに保育器に入れられました。羊水が肺に入り、肺炎をおこしていたのです。他の同じ時期に生まれた赤ちゃんを、お母さん達がうれしそうにだっこする姿を見て、とてもうらやましく感じました。

保育器に入って、小さな手に注射器を刺されて眠る姿を見て、涙が止まりませんでした。「死なないで、神様わが子を助けて」と祈り、泣かない日はありませんでした。幸いなことに一週間後には、病状が回復し、無事保育器から出られ、愛しいあなたを抱くことができました。その時こそ、健康のありがたさ、元気で生まれることの幸せを感じたことはありません。

そんな愛しい我が子ですが、子育てをしてきた15年間は奮闘の連続でしたね。親子でよく喧嘩をしましたね。親の言い分、あなたの言い分がかみ合わず、お互いの気持ちがすれ違い、どうしたらよいかわからないこともありました。

「わが子ながら、なんと憎たらしいことか」と思うこともありました。仕事の疲れと子育てでくたくたの時もありました。子どもの気持ちを考えず、厳しく叱ったこともありました。ごめんね。でも、子どもの不幸を願う親はいません。どんな態度をとっても、どんなに怒っても、自分の子どもを愛すればこそなのです。

私も未熟なので時には、これからも親としての「在り方」を間違えてしまうかもしれません。でも、あなたの親として、これからも愛情いっぱいの優しさと厳しさと付き合っていくつもりです。あなたも健康に気をつけ、これからも頑張ってくださいね。

おもちゃと遊んで？

中学校
3 学年
技術家庭

1 ねらい

- (1) 子どもが成長していく過程における、遊びやおもちゃの果たす役割を考えさせる。
- (2) 幼児の成長を考えることにより、将来自分自身が親となった時の態度を養う。

2 単元について

- (1) 単元名 遊びと発達について考えよう
 B「家族と家庭生活」 幼児の遊びと生活

(2) 指導観

幼児の成長にとって遊びは大切なものである。遊びを通して対人関係を育て、協調性や自己主張、自己統制力、競い合うことによる向上心などの社会性を身に付けていく。遊びの中で人や物と関わるのが、人間として育っていくために重要だということを理解させる。そして、将来自分自身が親となったとき、どのようにわが子と接していったらよいか、わが子を健全に成長させるためにはどのようにしたらよいかをここで学ばせたい。

(3) 指導計画（18時間扱い）

- 1 幼児の成長 …………… 3時間
- 2 幼児と遊び …………… 3時間
 ○遊びの中で育つ、遊びと発達…………… 1時間
 ○いろいろな遊び（おもちゃの役割を知る）…………… 1時間
 ○よいおもちゃの与え方、よくない与え方や遊び方を考える。… 1時間（本時）
- 3 幼児の喜ぶものをつくろう…………… 9時間
- 4 子どもと家族や周囲の人びと…………… 3時間

3 児童虐待防止指導上のねらい（身に付けさせたい資質・能力①一ウ）

- (1) 遊びやおもちゃが子どもの心の成長に果たす役割について学ばせ、自分自身の成長の過程を考えさせる。
- (2) 将来、自分自身が親となった時、自分の子どもに対し健全な成長を配慮できる素地を養う。

4 展開

☆児童虐待防止指導上の配慮

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援
導 入	1 前時の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの分類、役割、よいおもちゃの条件について思い起こすようにする。 ・幼児の成長にとって遊びは大切なものであることを確認する。

展 開	2 事例1、2を読んで、自分が親ならどうするかを考える。	・自分が親ならどうするかを考えて、ワークシートに記入させる。
	3 5、6人のグループをつくって、自分の意見を発表し合う。	・事例1、2について、自分が親ならばどうするか、その理由はどうしてかを発表し合う。 ☆親として、事例1、2の親の対応について、子どもの立場を尊重して接しているかを考えることで、児童虐待防止につなげさせる。 ・各グループごとに意見を発表させる。
開	4 各グループで出した意見をまとめ、全体に発表する。	・よいおもちゃの与え方、よくない与え方や遊び方を考えさせ、ワークシートに記入させる。
	5 話し合いをもとに、よいおもちゃの与え方、よくない与え方や遊び方を考える。 ・外で元気に遊べるもの。 ・子どもの望むものすべてよりも少し我慢させるような与え方。 ・目や姿勢が悪くならないおもちゃ。	・おもちゃの与え方や遊び方によって、人間形成に影響があることを考えさせる
終 末	6 自分が幼児の頃遊んでいたおもちゃや与えられていたおもちゃは、よいおもちゃだったのか、また、与えられ方はよかったのかを考える。	・おもちゃは、自分の成長にどのような影響を与えたのかを考えさせる。 ☆過去の記憶を不快と思う生徒には配慮する。
	7 将来、自分が親となったときどんなおもちゃを与えたらよいか、どんな与え方をしたらよいかを考える。	・親の立場に立って、よいおもちゃの与え方、よくない与え方や遊び方を考えさせる。

5 評 価

- ① 自分が親となった時を想定して、よいおもちゃの与え方、よくない与え方や遊び方について、考えることができたか。
- ② 子どもの立場になって考えることができたか。

6 児童虐待防止指導上のポイント

- (1) 児童虐待を受けたと思われる生徒がいる場合について
 - ・おもちゃを与えられていなかった場合も想定される。その生徒には、友達との関わりの中での遊びを想起させるなど十分な配慮を要する。

- ・幼児期によい思い出がない生徒がいる可能性もある。その生徒には、どんな遊びをしたかったのか、親となったときどんな遊びをさせたいかを考えさせる。
- (2) 将来、自分が親となったときの事を考えさせる
- ・人は皆、幸せになることを望んでいる。それを将来の自分の家族・子どもへと発展させて考えさせ、幸せになるためにはどうしたらよいのかを考えさせる。それにより、将来の児童虐待防止につなげたい。

7 成果と課題

(1) 成果

- ・おもちゃや遊びが子どもの心身の発達に果たす役割が理解できた。また、よいおもちゃの与え方や遊び方を理解することもできた。
- ・親の立場に立って考えることにより、自分が親になったときに子どもに、よいおもちゃを与えたり、よい遊び方をさせようとしたりする意欲を育てることができた。

(2) 課題

- ・おもちゃの果たす役割について、実際に保育実習を通して学ばせていくことが課題である。
- ・将来、親になっていくであろう生徒たちに、常に子どもの育て方に興味・関心をもっていくよう働きかけていきたい。

事例 1

さところちゃんは4歳の女の子です。さところちゃんは、2歳のときにお父さんからプレゼントでもらったクマのぬいぐるみが大好きです。ぬいぐるみに「ピーちゃん」と名前もつけました。いつも、「ピーちゃん」を抱いています。どこに行くにも一緒です。寝るときも一緒です。なので、「ピーちゃん」は、だいぶ汚れて、色も黒ずんできました。右腕の付け根がほころびて、とれそうです。近所の人からも、変な目で見られているようです。さところちゃんに「ピーちゃん」を捨てるように話しましたが、さところちゃんは、「絶対にイヤ」と言って、「ピーちゃん」を手放そうとしません。あなたは、親としてどうしますか？

事例 2

ケンくんは、5歳の男の子です。アニメが好きで、外で遊ぶことも少なく、いつも家の中にいてアニメのビデオやテレビを見ています。シャツや靴など、身の回りのものもアニメのグッズです。おもちゃもアニメのキャラクターを集めています。おもちゃのお店や子ども服のお店に行くと、アニメのグッズをほしいと親にせがみます。先日も、気に入ったアニメのキャラクターの靴が欲しいと親にせがみました。靴は一月前くらいに買ったばかりなので、靴は買わないと言うと、泣きわめいて、その場を動かそうとしません。あなたは、親としてどうしますか。

(生徒の感想)

『おもちゃと遊びって?』(幼児の遊びと生活)の授業を受けて

年 組

私は、家庭科の授業で、小さい子の遊びをやってみて、楽しく感じました。
おままごとや、魚つりゲームをやると、あまりやらない遊びだったので
新鮮でした。先生に言われておままごとを区別すると、かどの部分を丸く
してあったり(おぼろげなように)いろいろ工夫があってびっくりしました。

『おもちゃと遊びって?』(幼児の遊びと生活)の授業を受けて

3年 組

私は、この授業を受けて、幼児の「おもちゃ」や「遊び」についての考えが
少し変わったような気がします。私が小さい頃遊んでいたおもちゃを今見ると
「くだらない…」と思ったのですが、よく考えてみると、「おもちゃ」から学べる事が
たくさんあることに気がつきました。数を数えるのも、「おみくじ」や「お宝探し」…と幼稚園に
入る前から大切な事がもうすでに頭の中に入っているようです。
このように「おもちゃ」とは、単なるおもちゃではなく「意味のあるおもちゃ」として考えるようになりました。

『おもちゃと遊びって?』(幼児の遊びと生活)の授業を受けて

3年 組

私は、教室で小さい子のおもちゃで〇〇さんと遊びました。
久しぶりにおままごとや魚つりゲームをして、楽しかったです。実際に、
小さい子のおもちゃで遊んでみると、おもちゃの安全性がわかり、あらため
て感心することができました。

8 ワークシート

(1) 事例1について

Q あなたがさところちやんの親ならば、どうしますか？
理由：

(2) 事例2について

Q あなたがケンちゃん親ならば、どうしますか？
理由

(3) グループの話し合いで、他の人の意見でいいなと思った意見をメモしましょう。

--

(4) グループの話し合いをもとにおもちゃの与え方、遊び方について考えてみましょう。

よいおもちゃの与え方	よくない与え方	遊 び 方

よりよい子育てをするための考え方

高 校
1 学 年
公 民

1 ねらい

- (1) 児童虐待が起きやすい状況・環境を理解させる。
- (2) 虐待が起きやすい状況でも、虐待をせずに子育てをしていく方法を理解させる。
- (3) 人生において、困難なことや思うようにならないことは、よくあることであるととらえ、適切に対処する方法を知り、豊かで健康的に生きていく方法を身に付けさせる。

2 単元について

- (1) 単元名 「現代の社会生活と青年」
- (2) 指導観

人の悩みは、出来事や状況をどう受け止めるかによって生ずることが多い。

子どもが何か失敗したとき、親が「絶対失敗してはならない」と考えれば、子どもへの怒りの感情が生じ、子どもに厳しくあたったりして虐待をしてしまうかもしれない。だが、「子どもは失敗して学ぶものだ」と親が考えれば、ゆとりを持ち前向きな態度で子どもに接することができるだろう。このように、考え方を修正することを生徒に学ばせることで、将来の虐待防止につなげたいと考えた。

- (3) 指導計画

1 現代社会の特質…………… 3 時間

2 青年期の意義と課題…………… 6 時間

○青年期の意義…………… 1 時間

○青年期と自己形成の課題（合理的な考え方、非合理的な考え方）… 2 時間

○青年期と自己形成の課題…………… 1 時間（本時）

○職業生活と社会参加…………… 1 時間

○現代社会と青年の生き方…………… 1 時間

※ 公民科での取り扱いは、倫理において、「青年期の課題と自己形成」「現代の諸問題と倫理」の内容で実施できる。また、総合的な学習の時間においては、「福祉・人権」の分野で扱うこともできる。

※ 事前の授業（1～2時間）で資料1、2を用いて基本的な考え方を押さえておくと効果的である。（資料1、2の取扱いについては、P41参照）

3 児童虐待防止指導上のねらい（身に付けさせたい資質・能力 ①ーイ、ウ、②ーア）

- (1) 児童虐待が起りやすくなる状況を知る。
- (2) 虐待をしてしまう親の考え方を修正して、どう考えれば虐待をしないですむのか、適切な子育てができるのかを事例を通して考える。

4 展 開

☆児童虐待防止指導上の配慮

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ・ 支 援
導 入	<p>1 「非合理的な考え方」に気づき、修正する方法・「合理的な考え方」を持つ意味について、復習する。</p> <p>2 (はじめて実施する場合) 「自分で思うようにならないときにどう考えたらよいか」について学習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時であげた例を思い起こして、非合理的な考えと合理的な考えの違いや修正方法も確認する。 ・生徒各個人が「困ったこと」「気になること」「思うようにいかないこと」をイメージさせる。
展 開	<p>3 ワークシートの内容にそって、個人で「気づいたこと」と課題についての答えを考える。</p> <p><u>出来事</u>：「大変な状況下での子育て」「子どもが思ったように育たない」</p> <p><u>不適切な感情</u>：イライラ 子どもへの怒り 義父母への怒り 夫への恨み</p> <p><u>不適切な行動</u>：子どもへの(心理的・身体的)虐待</p> <p><u>非合理的な考え方</u>：子どもは親が思ったように育つべきだ 夫や義父母は自分のことを理解して協力すべきだ。</p> <p><u>合理的な考え方</u>：「子どもは泣くのが仕事である。」「子どもは、親の期待通りに育っていくわけではない。」「精神的にゆとりをもって子育てをしよう。」</p> <p><u>適切な感情</u>：(子どもが言うことをきかない、夫や義父母と考えが異なるのは) 残念、悲しい、困る</p> <p>4 個人研究をもとにグループで話し合う。</p>	<p>☆ワークシート上手な問題解決法③の事例のAが虐待のケースである。</p> <p>この母親が置かれた状況(下の①～⑤)を踏まえ心情を読みとり、自分に置き換えて考えいくことができるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 若年での妊娠 ② 育てにくい性格の子ども ③ 兄弟姉妹との比較 ④ 夫の子育てへの非協力 ⑤ 親族との不調和 <p>☆子どもは必ずしも親の期待通りに育っていくとは限らないという価値観がもてれば、困難な状況での子育てであろうとも、児童虐待は防止できるであろうということを確認できるようにする。</p>
終 末	<p>5 グループごとの発表を行い、どのような意見が出たか、分かち合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ性別・仲良しの度合・普段の座席をばらしてグループを作り、多様な価値観による意見交換を行うようにさせる。 ・様々な意見・見方に接して、自分の用意したものと比較し、相互の主張をとおして考察を深めさせる。(事例Bの解説は省略する) <p>・発表に対しては、考えを述べた姿勢や勇気を肯定的に評価させる。</p>

終 末	<p>6 教師のまとめを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の種類や虐待が起こりやすいリスク要因のまとめの説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の行為は許されないが、親としては追いつめられて、歪んだ考えを持った結果のことであるということを理解させたい。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 評価

- ① 虐待が起こりやすい状況を理解できたか。
- ② 虐待をせずに子どもと接するための「考え方」が身に付いたか。
- ③ グループや学級内のメンバーと意見交換が十分にできたか。

6 児童虐待防止指導上のポイント

- (1) 児童虐待を受けたと思われる生徒がいる場合について

虐待を受けている子どもがいる場合には、この授業を十分慎重に取り扱わなければならない。虐待を受けた子どもは、自分を必要以上に責めて自己尊重の感情が持てないことがある。親が虐待をしてしまうのは子どもの責任ではないことを授業を通して考えさせたい。また、攻撃的になったり、落ち着きがなくなったりする生徒には、自分自身を大切にし、自己尊重の感情を持てるようにさせたい。また、親が虐待をするメカニズムを客観的に学習することで、親から受けた行為を冷静に見つめられるようにさせたい。
- (2) 事後指導について

「非合理的な考え方」と「合理的な考え方」によるコミュニケーションはどう違うのかを考えさせ、体験させるために、ロールプレイの中で、親の役・子どもの役を設定して実施する。また、自分や相手の人権を尊重した上で、自分の意見や気持ちをその場に適切な言い方で表現できるようにするアサーション・トレーニング（非攻撃的自己主張訓練）を行って、子どもも親もきちんと自分の意志を相手に伝える方法を身に付けさせるのも有意義である。

7 成果と課題

- (1) 成果

授業後の生徒の感想に、「私はよくバイトのときとかイライラしてしまって友達にあたってしまうときがあって、後悔するときがある。授業でそれは不適切な感情なんだと分かって、確かにそうだなと思った。自分の思い通りにならないことだってあるんだから、そういうときはプラス思考やつじつまがあった考えをしようと思った。そういう方が問題を解決するのもしやすしいし、普段から“～であった方がいいが、そうでなくても何とかなる”という考えでいようと思った」「一人で悩むのはいけないと思う。一人で悩むとストレスもたまってマイナスのことしか考えなくなってよくなるから、友達とか親とかにちゃんと話した方がいい！」といったものがあり、自分自身の非合理的な考え方に気付いたり、有効な解決法が見出せたりしている。
- (2) 課題

「合理的な考え方」や「非合理的な考え方」の2つの考え方をわかりやすく生徒に理解させるかが課題である。大まかに理解できればよいのであって、生徒なりの感じ

方を大切にしたい。重要なのは、楽に自然にやっていく方策を身に付けることである。

また、将来親になったときに、現在周りの人たちとの人間関係を適切かつ柔軟にとらえられるようにすることは生徒にとっての課題である。そのために教師として支援や指導をしていくことができればと考える。

* 事前資料 1 の扱い……「最近気になっていること」「そのときに自分が自分に言っていることば＝「信念・考え方」「感じたり、行動した内容」について、「資料①の例」のように自分であげてみる。そのときの感情が我慢できないものだったり、行動が自分や他人のためにならないものだったりする場合は不適切な感情・行動である。そのときに、考え方について「つじつまがあっているか」といった検討を行いそうでないとしたら「非合理的な考え方」である。そして、その考えをより正しく、自分が楽になれる考え方に修正したらどうなるかを記述してみる。その「合理的な考え方」をしたときに得られる感情や行動は適切なもので、問題をそれ程感じずに過ごしていくことができる。生徒個人がこのシートへの記入をしたら、4～5人程度のグループで検討しあうのもよい。その際、決して興味本位にからかったりさせないようにする。また、あらかじめグループワークもすることを生徒に伝え、それに適した題材をあげさせる。あるいはグループワークに参加しない自由も認める。最後にクラス全体でどんなものがでたか発表したり、教師が講評したりしてまとめる。

* 事前資料 2 の扱い……事前資料 2 を各自で記入させ、合理的な考え方、非合理的な考え方とはどういうものかをおおまかに捉えさせる。

上手な問題解決法①

信念・考え方・思いこみ・価値観

○どんなことがありましたか

(例) 彼女(彼)に
ふられた

彼女(彼)にふられるなんて最悪だ
自分ふられるべきではない。
自分には継力がない人間だ

落ち込み 苦痛 絶望
家に引きこもる

年 組 番 ()

感情・行動

○どう感じ、どうしましたか

その考えは、つじつまがあってますか？
その根拠はなんですか？
その考えはなにかいいところがありますか？

より正しい・楽になれる・柔軟な考え方

彼女(彼)にふられないのに越したこともないが、ふられることも
あり得るし、ふられたとしても何とかがやってみよう
間では自分にはダメ

新しい感情・行動

残念 悲しい
何か新しいことを始める

ワークシート 上手な問題解決②

1. 次の感情を“a:適切な感情(何とかややっけていける気持ち)”か

“b:不適切な感情(我慢できない気持ち)”に分けましょう。

- 不安 恐怖 懸念 心配 激しい落ち込み 悲しみ 激しい怒り
- () () () () () () () ()
- 義憤 苛立ち 後悔 反省 絶望 嫉妬 うらやましき
- () () () () () () () ()

2. 「適切な感情」「不適切な感情」とはどんな感情でしょうか？

適切な感情

不適切な感情

3. 次の考え方を“a:合理的な考え方(バランスのとれた考え方)”か

“b:非合理的な考え方(極端な考え方)”に分けましょう。

- () ①まわりの人は、自分の期待通りに行動すべきである。
- () ②他人にできて、自分にできないと、自分をダメ人間だと思う。
- () ③困難ことはなるべく避けた方がよい。
- () ④自分に無理なことをやらせようとするのは、絶対に許せない。
- () ⑤信じていたことが誤りだと分かっただと、すぐにその考えを改めることができる。
- () ⑥誰でも他に支えてくれる人がいないと、生きていけないものだ。
- () ⑦デートの最中は、相手は自分のことだけを見ているべきで、他の異性に興味を持つてはならない。
- () ⑧何もしないで気楽に暮らしていくのが、一番だ。
- () ⑨解決が困難な場合、多少我慢しても適切な妥協案を考える。
- () ⑩いつでも完璧なものごとをこなさなければならぬ。
- () ⑪自分の判断は誤っていることもあるから、落ち着いていろいろな角度から考えてみた方がよい。
- () ⑫怒りなどの感情は、他人がもたらすので、どうしようもない。
- () ⑬自分は頭が悪いし、これからどんなに頑張っても無駄だ。

年 組 番 ()

4. 上の問題で非合理的な考え方であった文章を合理的な考え方にしましょう。

5. 「合理的な考え方」「非合理的な考え方」とはどんな考え方でしょうか。

合理的な考え方	}	非合理的な考え方

6. 自分のことにおきかえて気づいたことを書きましょう。

ワークシート 上手な問題解決法②<解答例>

1. 次の感情を“a:適切な感情(何とかやっつけていける気持ち)”か

“b:不適切な感情(我慢できない気持ち)”に分けましょう。

- 不安 恐怖 懸念 心配 激しい落ち込み 悲しみ 激しい怒り
 (b) (b) (a) (a) (b) (b) (a) (b) (a) (b)
 義憤 苛立ち 後悔 反省 絶望 嫉妬 うらやましさ
 (a) (a) (b) (b) (a) (b) (b) (b) (a) (a)

2. 「適切な感情」「不適切な感情」とはどんな感情でしょう？

大変かもしれないが我慢できる感情
 将来につながる発展的・前向きな感情
 適切な行動がとれる感情

適切な感情

不適切な感情

過剰な精神的苦痛を感じる 自分ではどうしようもない感情
 自己を傷つけてしまう感情
 発展性が見えない、不適切な行動をとってしまう

3. 次の考え方を“a:合理的な考え方(バランスのとれた考え方)”か

“b:非合理的な考え方(極端な考え方)”に分けましょう。

- (b) ①まわりの人は、自分の期待通りに行動すべきである。
 (b) ②他人にできて、自分にできないと、自分をダメ人間だと思ふ。
 (b) ③困難ことはなるとなるべく避けた方がよい。
 (b) ④自分に無理なことをやらせようとするのは、絶対に許せない。
 (a) ⑤信じていたことが誤りだと分かっただけなら、すぐにその考えを改めることができる。
 (b) ⑥誰でも他に支えてくれる人がいないと、生きていけないものだ。
 (b) ⑦デートの最中は、相手は自分のことだけを見ているべきで、他の異性に興味を持ってはならない。
 (b) ⑧何もしないで気楽に暮らしていくのが、一番だ。
 (a) ⑨解決が困難な場合、多少我慢しても適切な妥協案を考える。
 (b) ⑩いつまでも完璧にものごとをこなさなければならぬ。
 (a) ⑪自分の判断は誤っていることもあるから、落ち着いていろいろな角度から考えてみた方がよい。
 (b) ⑫怒りなどの感情は、他人がもたらすので、どうしようもない。
 (b) ⑬自分は頭が悪いし、これからどんなに頑張っても無駄だ。

4. 上の問題で非合理的な考え方であった文章を合理的な考え方にしましょう。

①	まわりの人が期待通りに行動してくれるのに越したことはないが、そうでないことも多いので、それでもなんとかやっつけていける
②	人間得意不得意があるから、それだけでダメ人間とは言えない
③	困難が人を育てることもあるので、避けているばかりではよくない
④	他人の限界は分からないから無理だつたら無理だと言えればいい
⑤	支えてくれる人がいなくとも自分一人でやれることもある
⑥	見ているほうがいいが、他人の興味や内面はコントロールできない
⑦	そんなことを続けていたら結局は気楽に暮らせなくなるのが現実
⑧	いつでも完璧にこなすのは不可能だから自分なりにベストをつくす
⑨	自分自身の信念によって感情は変えることができる
⑩	自分の都合のよいいいわけをしているにすぎない 今後の頑張りがいからでも成果をあげることが可能である

5. 「合理的な考え方」「非合理的な考え方」とはどんな考え方でしょう。

楽観的で、なんとかやっつけていける、柔軟で、問題解決につながり、現実的で、現実的で、自分や他人の未来を切り開ける、健康的な考え方

合理的な考え方

悲観的で、我慢できない、強硬で、絶対的、教条的、現実にあわず、自分や他人を幸福にしない、不健康で、融通のきかない考え方

非合理的な考え方

6. 自分のことにおきかえて気づいたことを書きましょう。

(生徒の意見)

自分でも普通に考えていたことが、非合理的な考えだったのは、意外だった。合理的にしていくと来になれることを知って、なるほどと思った。とくにデートのときのものとてもあてはまっていた。やっばり彼でも他人だから自分の思い通りにはいかないと考えた。

ワークシート 上手な問題解決法③

年 組 番 ()

<課題> 次のような場合の「出来事」「不適切な感情（我慢できない気持ち）」「不合理な考え方（極端な考え方）」は何でしょう？また、合理的な考え方を、どのように修正したら「合理的な考え方（バランスのとれた考え方）」になるでしょう？そうした場合、不適切な感情はどのように修正したら何とかやっつけていける気持ちに変化するでしょう？（例はいずれも架空）

ワークシート

A	24歳の女性。結婚する前に妊娠していたことが分かっていて、上の子は幼稚園に通っている男の子。下の子は3歳になる女の子。下の子は何をやっても失敗する。ギャアギャア騒ぐし、おねしょもする。そんなとき、イライラして、つい手が出てしまう。昨日もコップを倒して、ジュースがこぼれたので、平手でおおを殴ってしまいました。そして「ママはあんたなんか大嫌い」と叫んだ。上の子はそれに比べ育てやすい。先日の保護者面談では幼稚園の先生が「何でもよく気がついて、友達の間で面倒見もいいですよ」とほめてくれた。下の子は手が休むので、自分にわざと大変な思いをさせているようにも思える。夫は不規則な仕事で帰りの日も遅い。日曜に仕事に行くことも多い。家にとっても疲れているのか全く家のことには手を出さない。近くに夫の両親も住んでいるが、いきなり家に来ては子どもを連れてどこかに遊びに行ってしまうたりする。子どもたちも私も私よりも親の方になついでいる。先日夫の親から娘が愚図なのは母親である自分の育て方の問題だといったよなことを言われて、カチンと来た。そんなときはいきなり娘にあたってしまおう。自分の親は遠くに住んでいるので、あまり行き来がない。時々上の子の幼稚園のお母さんたちに愚痴を言う。
出来事	
不適切な感情	
不適切な行動	
不合理な考え方	
合理的な考え方	
適切な感情	

B	22歳の男性。コンピューター関係の専門学校を卒業した。最初に就職した会社は経理用のソフトを作るところで、すぐ倒産してしまいました。その後コンビニなどでバイトをしている。収入は月15万円程度。今は親と生活しているが、親からは「早くちゃんとした仕事に就け」「このままでは結婚もできないぞ」と毎日のように言われる。正社員になるためにいくつ就職試験を受けたが、どこにも受からない。最近では面接にまでこぎつけることが少ない。世の中の方に少しも受からない。友達も自分から離れていくように気がする。世の中の誰にも相手にされなくなるのではなにかと思うと、怖くなるし、こんな風になつたり、専門学校でたくさん資格を取っておけばよかつたその後悔する。親だつて最近体調がよくないし、いつまでも頼っているわけにもいかない。どうしていいのかわからず八方ふさがりである。
出来事	
不適切な感情	
不合理な考え方	
合理的な考え方	
適切な感情	